

雲の上はいつも晴れ☀

晴れない雲はない!



さとう まきこ

佐藤牧子 さん

1997年 鶴岡工業高等専門学校(制御情報科)
 2002年 長岡技術科学大学
 大学院 (環境システム工学)
 2006年 新潟県内企業で研究開発
 2011年 ナミックス株式会社 技術開発本部
 商品技術U
 (電子材料関連の研究開発に従事)

✓ 佐藤さんの 日々のルーティン

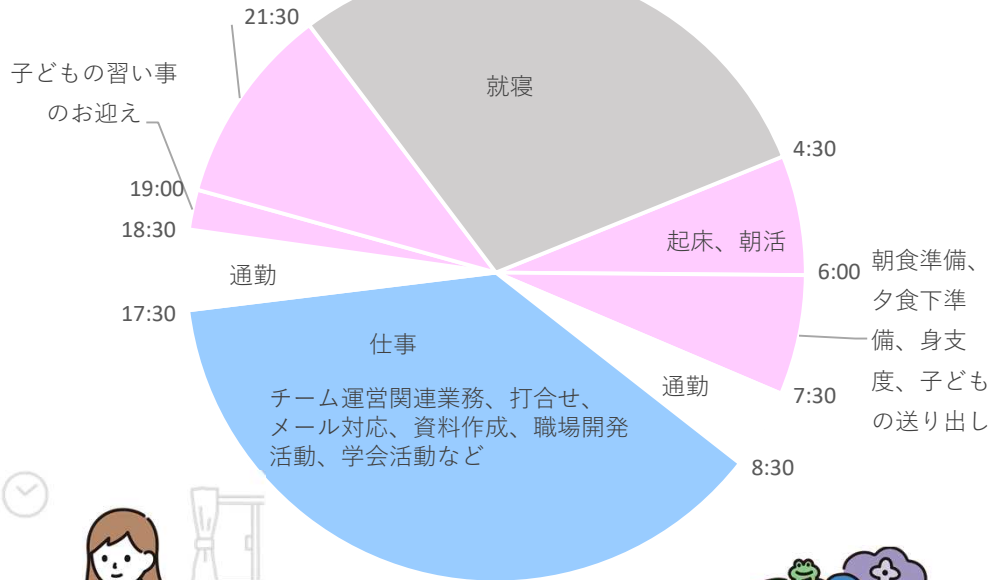
朝型なので、早起きして朝活をしています。

夜は帰宅したらすぐにビールを飲み始めます。何をするのも片手にビールを持っています。

子供とのスキンシップ、コミュニケーションが晩酌の「つまみ」です。

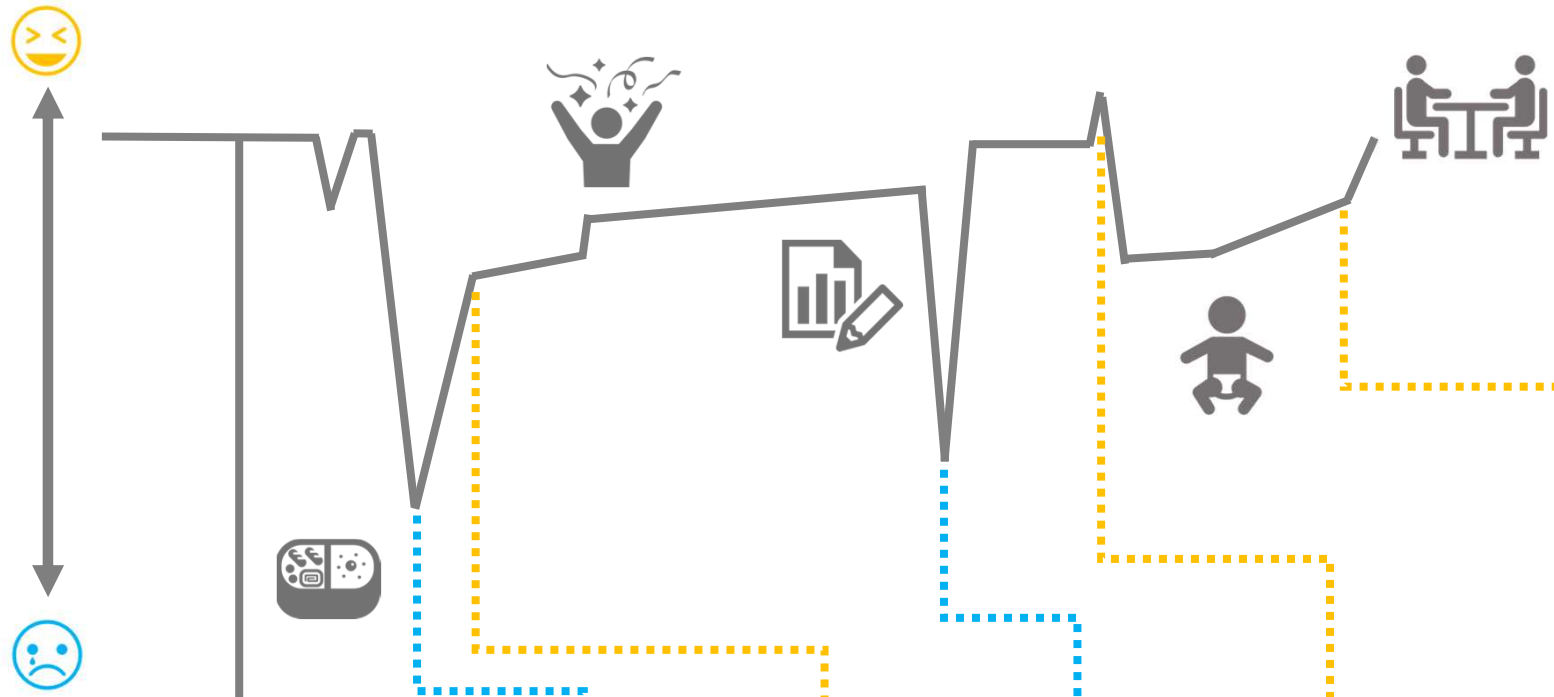
集中モードに入りたいときはテレワークをしています。集中力が切れたときの復活方法を模索中...

夕食&晩酌、お風呂、家事、子どもとの時間



✓佐藤さん “私のライフチャート”

出生～小学校 中学・高校 大学・大学院 社会人20代 社会人30代 社会人40代



	出生～小学校	中学	高校	社会人20代	社会人30代	現在
出来事	新潟生まれ・新潟育ち 小学校時代は優等生	大反抗期突入 中学時代はやや不良生徒	鶴岡高専(山形)に進学⇒ 一人暮らし開始 高校時代はコギャルを目指す	転職	出産 育休復帰後に管理職になる	井の中の蛙 大海を知るための活動開始 (学会活動、異業種交流など)
影響を受けた出来事 出会い	小3で母が死去 私の誕生日まで頑張った母に感謝	中学時代の恩師が親身になって進学先を検討してくれる	高校時代の恩師達が大学受験のため、特別授業を開催	リーマンショック	出産に伴い、母性が目覚める	社内外の様々な方との活発な意見交換で視野が広がる
成功体験	小学生で掃除、洗濯、お弁当作りなど一通り1人でできるようになる	希望高校に合格	希望大学に合格	転職 (自分のやりたいことができ、自分に合う風土の会社に出会う)	育児の経験や母性をチームビルディングに展開	これから、成功するはず…
失敗体験	中学受験に失敗	内申点が低く、高校入試で推薦してもらえない	一人暮らしで自由奔放に生活した結果、高校時代の成績は常にビリ争い	自己成長できるような活動をしていなかった (毎日ダラダラ)	仕事と育児の両立がうまくできない…	これから大きな失敗はないはず…

✓佐藤さんにいろいろお聞きしました!



今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

前提として...

小学生の頃から理科・算数が好き、社会科が嫌いでした(家の家電製品の仕組みが知りたくて、家電製品を分解して遊んでいるような子供でした。元に戻せなくなって、すごく怒られましたが...社会科は今でも全く興味ないです)

きっかけは主に以下の3点です

- ①高専の頃、制御情報科でプログラミングなどをやっていましたが、SE関係は無理だと悟りました。むしろ3D加工や旋盤などの実習授業で「ものづくり」をする方が性に合っていることに気が付きました
- ②大学・大学院時代のインターンシップと企業との共同研究で、企業での「ものづくり」に興味を持ちました
- ③私が開発したものを世の中に出したいと思いました

この仕事を続けていてよかったと思うところは何か?



仕事を通じて毎日新しい発見がある!
発見を展開できる!

開発業務を通じて小さいことでも毎日発見があるので刺激を受けます。

また、学会活動や異業種交流などの業務と関わりがあまりない分野では、違う視点での発見があります。色々な発見を頭の中に入れておくと、思いがけないところで応用できたりします。

発見をどうやって自身の仕事に展開していくのかを考えるのも、とても楽しいです。

このような環境があることも、この仕事、この職場にいて良かったと思うところです。

ロールモデルを教えてください!



ぱっと思いつく人はいません。
敢えて挙げるなら私の親です。

学生時代の自分を振り返って

高専時代から一人暮らしをしていたのもあり、ずっと自由奔放でひたすら楽しかったです🎵

真面目に勉強・研究していた!とは口が裂けても言えないような学生時代でした。

「やらなくてはいけないこと」、よりも、「やりたいこと」を精一杯やっていました。特にアルバイトは楽しくて楽しくて、ほぼ毎日していました。

こんな毎日だったので、もっと基礎学力をつけておけば...
もっと英語を勉強しておけば...などなど「もっと〇〇しておけば...」はいっぱいあります。

でも、後悔も経験の1つ。学生時代の色々な経験があったから、今があるとと思っています。

ワークライフバランスについて教えてください!

現在、育児中なので仕事と育児をメインにしています。

仕事:フレックスタイム制を利用して、子供の登校時間に合わせて出勤しています。優先度をつけて業務を行い、必要に応じて職場のメンバーに協力してもらっています。正直、管理職になった方がワークライフバランスは取りやすいと思います。

支えてくれている職場の制度と理解は本当にありがたいと感じます。

私生活:育児重視で家事はとても適当です。元々、家事は好きではないので、ここぞとばかりに手を抜いています。子供が小学生高学年になり手がかからなくなってきたので、自分のための時間も増えてきました。(家事の時間は増やしません。これからもずっと手抜きだと思います)。完全に手がかからなくなるのは寂しいので、年齢に合わせて程よい距離感を保っていくのが理想です。

社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

学生の頃、「社会人」「仕事」というのはぼんやりとしかイメージできていませんでした。そのため、社会に出てからスタートダッシュはできませんでした。OB・OG訪問や社会人との交流、学生時代での起業など、できるだけ「社会」のことを知っておくと、スタートダッシュができたり、就職先の選定がしやすいと思います。インターネットやSNSだけの情報では不足していたり、偏りがあったりすることが多いので直接生の声を、生の情報を入手することをお勧めします。

自分に合う企業で、自分にとって幸せな働き方で、自分の強みを活かして仕事をして欲しいと思います。

「夢にときめけ! 明日にきらめけ!」(by ROOKIES 川藤幸一)

